

第16回（2009年度）全国銀行学術研究振興財団賞

<法律分野>

山本 和彦 一橋大学大学院法学研究科教授

〔表彰理由〕

民事訴訟法、特に金融関連を含む倒産法制、ADR法制の業績が高い評価を得ている。

〔主要著書・編著〕

- 『民事訴訟法〔第6版〕』（共著）有斐閣（2009年）
- 『ADR仲裁法』（共著）日本評論社（2008年）
- 『倒産処理法入門〔第3版〕』（有斐閣（2008年）
- 『コンメンタール民事訴訟法Ⅰ～Ⅲ』（共著）日本評論社（2006年・2008年）
- 『民事訴訟法の論争』（共著）有斐閣（2007年）
- 『民事執行・保全法〔第2版補訂〕』（共著）有斐閣（2007年）
- 『倒産法概説』（共著）弘文堂（2006年）
- 『手続裁量とその規律』（共編）有斐閣（2005年）
- 『よくわかる民事裁判〔第2版〕』（有斐閣（2005年）
- 『国際倒産法制』商事法務（2002年）
- 『民事訴訟法の基本問題』判例タイムズ社（2002年）
- 『民事訴訟審理構造論』信山社（1995年）
- 『フランスの司法』有斐閣（1995年）

〔主要論文〕

- 『当事者主義的訴訟運営の在り方とその基盤整備について』民事訴訟法雑誌（2009年）
- 『事業再生ADRについて』名古屋大学法政論集（2008年）
- 『民事訴訟法10年—その成果と課題』判例タイムズ社（2008年）
- 『証拠法の新動向』ジュリスト（2006年）

『フランスの執行士制度』 新民事執行実務 (2006年)

『裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律の意義と今後の課題』 法律のひろば (2005年)

『民事訴訟法理論から見た行政訴訟改革論議』 法律時報 (2004年)

『証券化と倒産法』 ジュリスト (2003年)

『ADR法制とADR機関ルールの在り方』 ジュリスト (2002年)

『強制執行手続における債権者の保護と債務者の保護』 (竹下守夫先生古稀祝賀論文集「権利実現過程の基本構造」有斐閣) (2002年)

『抵当権に基づく物件管理制度』 銀行法務 21 (2002年)

以上